

「建具とガラスの組み合わせ」による開口部の熱貫流率（建具の仕様とガラス性能から算出）  
平成28年省エネルギー基準・木造・・・玄関ドア・引戸（大部分がガラスで構成される開口部）

当一覧表は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報」、及び一般社団法人 日本サッシ協会ホームページ内「建具とガラスの組み合わせ」による開口部の熱貫流率表（住宅用窓の簡易的評価による）に基づいています。

建具の仕様	ガラスの仕様		中空層の仕様		開口部の熱貫流率 [W/(m <sup>2</sup> K)]※2				YKK AP対象製品一覧
			ガスの封入※1	中空層の厚さ	付属部材無し	シャッター・雨戸付	和障子付	風除室あり	
その他 ・金属製建具 ・金属製熱遮断 構造建具 等	複層ガラス	Low-Eガラス	されている	10mm以上	2.91	2.59	2.41	2.26	・冴II ・店舗ドア7TD（複層仕様）
				10mm未満	3.49	3.04	2.82	2.59	・コンコード S30（アルミタイプ） ・冴II ・れん樹（複層仕様） ・店舗ドア7TD（複層仕様）
			されていない	14mm以上	2.91	2.59	2.41	2.26	・冴II ・店舗ドア7TD（複層仕様）
				7mm以上14mm未満	3.49	3.04	2.82	2.59	・コンコード S30（アルミタイプ）
				7mm未満	4.07	3.49	3.21	2.90	・冴II
				8mm以上	4.07	3.49	3.21	2.90	・れん樹（複層仕様）
	一般ガラス	されていない	8mm以上	4.07	3.49	3.21	2.90	・れん樹（複層仕様）	
			8mm未満	4.65	3.92	3.60	3.18	・店舗ドア7TD（複層仕様）	
	単板ガラス	-	-	-	6.51	5.23	4.76	3.95	・フロント（採光付） ・れん樹（単板仕様） ・玄関引戸80型 ・店舗ドア7TD（単板仕様） ・店舗引戸（9TH型、9TU型） ・店舗引戸（STH-3型、3TH型） ・2HD（框ドアタイプ） ・汎用片引き戸2HH

表中の用語の定義については、国立研究開発法人 建築研究所が公表する「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の「2.エネルギー消費性能の 算定方法 2.1 算定方法 1.概要と用語の定義」を参照（<http://www.kenken.go.jp/becc/house.html>）

※1 「ガス」とは、アルゴンガス又は熱伝導率がこれと同等以下のものをいいます。

※2 国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報」の熱貫流率及び線熱貫流率（窓等の大部分がガラスで構成される開口部）の熱貫流率の表及び付属部材が付与される場合、風除室に面する場合の計算式によります。

【ドア・引戸の仕様について】

- 「Low-E複層」とは、2枚の板ガラスと1つの中空層からなるものであり、1枚以上の板ガラスにLow-E膜を中空層に面するように使用しているものをいう。低放射複層ガラスともいう。
- 「樹脂と金属の複合材料製（建具）」とは、屋外側の建具の大半に金属、屋内側の建具の大半に樹脂を使用した構造をいう。
- 「金属製熱遮断構造（建具）」とは、金属製の建具で、その枠及び框等の中間部を樹脂等の断熱性を有する材料で接続した構造をいう。
- 「金属製（建具）」とは、アルミニウム合金等の金属で構成された構造のものであり、枠等の一部にプラスチック等を使用した構造のものを含む。

こちらの対象製品一覧は、一般社団法人 住宅性能評価・表示協会運営の「温熱・省エネ設備機器等ポータルサイト」に登録済みです。  
上表中の商品は、構造・形状等での性能確認が可能であるため、上記ポータルサイトにおける性能確認区分はすべて「-」となります。